令和４年３月 23 日

農業改良普及課
　技術経営指導関係グループ班長　殿
関係各位

農業総合試験場
普及戦略部技術推進室
（作物担当）

2022 Aichi 麦作管理支援情報　第３号

○　気温は、12 月第 6 半旬以降平年を下回る旬が多かったが、３月第 3、第 4 半旬は平年を上回りました。

○　作物研究部作物研究室の麦生育診断情報（農総試、３月 21 日現在）によると、出穂期は、「きぬあかり」で、平年並みから１日遅れ、「ゆめあかり」で平年並から 2 日遅れと診断されています。

○　気温が上がり降雨が多くなると湿害の発生が危惧されます。排水対策を行うことにより、出穂期と登熟期間の湿害を軽減できますので、明きょの点検と補修を指導して下さい。

○　令和４年３月４日付け病害虫発生予報によると、赤さび病の発生は「やや多い」とされています。また、昨年は県内各地でムギうどんこ病が多発しました。これらの病害が多発すると収量や品質が低下するため、発生初期から防除をするように指導して下さい。

○　病害虫の発生状況については、「あいち病害虫情報」を確認して下さい。http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/

添付資料：令和４年産麦生育診断情報（第３報）愛知農総試作物研究部作物研究室発行

連 絡 先 ：農総試普及戦略部技術推進室　電話 0561-62-0085　内線 344

情報提供先：農業経営課技術調整Ｇ、園芸農産課稲・麦・大豆Ｇ、各農業改良普及課技術経営指導関係Ｇ、農業大学校、環境基盤研究部病害虫防除室、同病害虫研究室、作物研究部作物研究室、同水田利用研究室、山間農業研究所稲作研究室、愛知県経済農業協同組合連合会、愛知県農業会議、愛知県農業協同組合中央会、愛知県農業共済組合、愛知県米麦振興協会、愛知県製粉協会